

行田羽生資源環境組合 新ごみ処理施設 建設だより Vol.1

行田羽生資源環境組合では、行田市と羽生市が共同で進める、新たなごみ処理施設の整備に関する事務を行っています。
建設だよりでは、施設の建設状況など、様々な情報を発信してまいります。

1 こんな施設の工事を進めていきます

令和6年9月に、施設の整備と運営を行う事業者と契約し、現在は施設の設計や擁壁の設置工事などを実施しており、令和10年4月1日のごみの受け入れ開始に向け、順調に進捗しております。

(1) 施設概要

① ごみ焼却施設

【処理能力】

126t/日 (63t/日×2炉)

② マテリアルリサイクル推進施設

【処理能力】

不燃・粗大ごみ処理ライン 12t/5h

かん類処理ライン 1.2t/5h

ペットボトル処理ライン 2.2t/5h

剪定枝資源化ライン 5t/日

③ 資源物ストックヤード

ビン類、紙・布類、小型家電等

④ 管理棟

⑤ 計量棟

⑥ 外構等

擁壁

調整池

場内運搬道路、駐車場

給排水設備

植樹など



(2) 工事概要

① 工事名称 行田羽生資源環境組合 新ごみ処理施設整備運営事業

② 工事期間 令和6年9月30日から令和10年6月30日まで（実施設計期間を含む）

※新施設でのごみの受け入れ開始は令和10年4月1日（予定）となります。

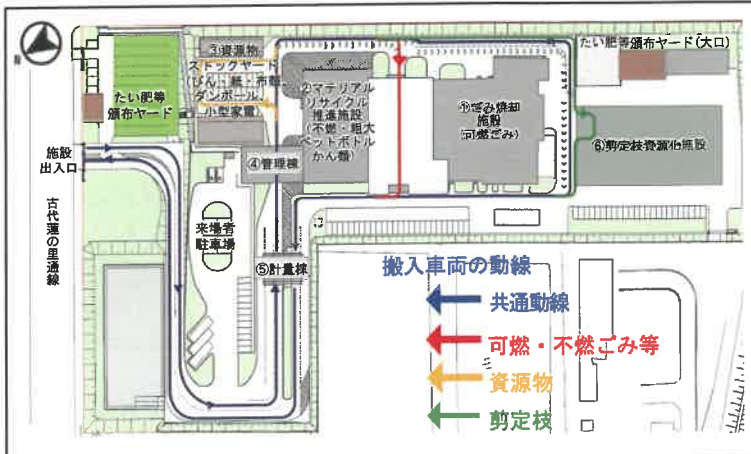
③ 事業費 254億2,100万円

④ 工事事業者 タクマ・鴻池・小川・共和化工・大野特定建設工事共同企業体

(3) 施設完成イメージ図



(4) 施設の配置図



※施設の完成イメージ図及び配置図については変更となる場合がございます。

2 このような期間で進めていきます

作業工程 \ 暦 年	R6	R7	R8	R9	R10
実施設計 (R6. 9～R7. 9)					
擁壁工事等 (R7. 2～R7. 9)					
土木建築工事 (R7. 10～R10. 1)					
プラント工事 (R8. 9～R10. 1)					
外構工事 (R9. 10～R10. 3)					
試運転 (R10. 1～R10. 6)					

※工事の進捗により変更となる場合がございます。

3 現場の様子(令和7年2月下旬から5月初旬)

行田タワー側から
見た現地の様子



朝礼の様子



外周部擁壁下への柱状改良
を行っている様子



施設外周部(南側)に擁壁を設置



新施設の豆知識 ①



Q. 施設の配置図にある剪定枝資源化棟
ってどんな施設？

A. 剪定枝資源化棟は、現在、可燃ごみとして処理
している剪定枝(直接施設に搬入いただいたものに
限る)を堆肥やチップとするための処理を行う施設
です。チップ、堆肥は畑の土壌改良や防草材とし
ての活用が期待できるものです。



編集後記

この度、地域の皆様へ新たなごみ処理施設
整備の進捗状況などをお知らせするために、
「新ごみ処理施設建設だより」を刊行する運
びとなりました。

令和10年4月1日のごみの受け入れ開始
に向け、また、より良い施設となるよう精一
杯取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願い致します。



【発行元】

行田羽生資源環境組合総務施設課
住所：埼玉県行田市本丸2-20
電話番号：048-577-8106
(発行年月：令和7年6月)

当組合の情報はホームページからも
ご覧いただけます。
(<https://ichikumi.jp/>)



行田羽生資源環境組合

検索